



訃報 島村大参議院議員

訃報

同氏は昭和 35 年 8 月 11 日生まれ。東京歯科大学卒業。神奈川県歯科医師連盟理事長、日本歯科医師連盟理事長を歴任。平成 25 年の参院選神奈川選挙区で自民党から出馬し初当選、令和元年の選挙で 2 度目の当選を果たす。参議院厚生労働委員長、厚生政務官などを務めた。島村大参議院議員の通夜・告別式が令和 5 年 9 月 3 日 4 日で東京港区増上寺で執り行われました。告別式での菅前総理大臣の弔辞です。

横浜市青葉区歯科医師会

2023 年 9 月発行

告別式での菅前総理大臣の弔辞

故島村大先生のご葬儀にあたり謹んで哀悼の誠を捧げます。

あまりにも突然の不幸に未だに心の整理が付きません。本日までご参列されている皆様も同じ思いではないでしょうか。また、ご家族の悲しみは想像を絶するものであると拝察いたします。本当に惜しい人を亡くしました。残念で、悔しくて仕方がありません。

最後にお目にかかったのは亡くなる2週間ほど前のことです。お嬢様が「結婚する」と、嬉しそうに報告してくれました。ハワイでの挙式に出発される直前のことだったと思います。披露宴を後で開くから出席してほしい、とおっしゃっておいりました。本当に、家族を大事に、大切にされているのだなと思いました。

島村さんは、笑顔の人でした。島村さんとのことを振り返ると、笑顔の島村さんが眼瞼に浮かびます。物腰柔らかく、いつもにこにこしている島村さんの周りは自然と明るくなります。

今ここに眠っておられる島村さんは、島村さんらしい笑みをたたえておられました。本当になくなられたことが信じられません。

参議院議員として2期10年、病との戦いを克服し、次へ向けて一生懸命活動しておりました。もっと活躍して頂ける、一緒に仕事ができるものとばかり思っておりました。

初めての出会いは、今から11年前。当時自民党は野党でした。私は神奈川県連会長として翌年に控える参議院選挙の候補者を探しておりました。自民党の信頼を取り戻すための大事な候補者です。そのときに県会の若い議員から、島村先生を強く推す声が上がりました。神奈川県歯科医師連盟理事長として、歯科の条例を全国で初めて神奈川で制定するために奔走されていた、そうした実行力、行動力が参議院議員として即戦力になるという評価でした。そうした声を受け止め、候補者に決定をいたしました。その評価が正しかったことは島村さんご自身が国政でその働きぶりで証明をされました。

東京歯科大学を卒業して以降、歯科医師として患者に向き合い、開業してクリニックを経営されながら団体活動も熱心に取り組まれ、若くして日本歯科医師連盟の理事長にもなられました。医療の現場もよく知り、視野も広く、別格でした。

私が総理大臣の時に、新型コロナウイルスとの戦いの中で、ワクチンを切り札と見定め、1日100万回接種を宣言しました。多くの課題が山積する中で最も重要なのは「打ち手」を確保することでした。島村さんは、ワクチン接種の担い手として歯科医師などに広げることを具体的な道筋を示した上で提案頂きました。いかに実現するか、島村さんはいつも前を向いて、地に足を付けて政策を進める人でした。

また、島村さんは厚生労働部会の副部会長、厚生労働委員長、厚生労働大臣政務官、その専門知識と行動力をいかんなく発揮し、年々存在感を増しておられました。自民党にとって、

社会保障分野で欠かせない議員になる道を着実に歩まれておりました。

また、人情の人でもあり、選挙を大事にする方でした。神奈川県下で選挙があれば、選挙の大小を問わず同志の応援に駆け回っておられました。時間があれば駅頭に立たれ「肌感覚が磨かれるからいいですよ」と楽しそうにしていました。有権者の視点を大事にする方でした。

また、政権にとって大事な選挙では全国どこへでも行って、歯科医師を訪ね歩き、私たち自民党を支えてくださいました。緻密な活動、謙虚で真摯な姿勢から多くの方々から信頼されていました。だからこそ、参議院議員としては初めて自民党横浜市連の会長にも就任をされました。

日本のため、神奈川のため、横浜のため、力を貸してほしいことがたくさんありました。島村さんも、まだまだやりたいことがあったと思います。島村さんのご意志は、ここにいる多くの仲間の皆さんとともに必ずや前に進めて参ります。

島村さんの笑顔はズーと、皆さんの心に残ると思います。

島村さん、本当にありがとうございました。

どうぞ、安らかにお休みください。

令和5年9月4日

前内閣総理大臣 衆議院議員 菅義偉